

2012年2月15日

福島県いわき市立久之浜第一小学校で そらべあ基金と協同でワークショップを実施 ～再生可能エネルギーを題材にしたコミュニケーションアートで思い出作りのお手伝い～

ソニー損害保険株式会社（東京都大田区、代表取締役社長：山本 真一、以下「ソニー損保」）は、社会貢献活動の一環として、福島県いわき市立久之浜第一小学校の6年生全員（44名の予定）を対象に、再生可能エネルギーを題材にしたコミュニケーションアート（ ）のワークショップを2012年2月22日に実施します。

同ワークショップは、東日本大震災被災地域の子どもたちの、小学校生活の思い出作りをお手伝いできればと考えて企画したもので、NPO法人そらべあ基金（以下「そらべあ基金」(*1)）および、NPO法人インスティテュート・オブ・コミュニケーション・アート（以下「IOCA」(*2)）と協同で実施します。

ワークショップでは、そらべあ基金のスタッフが「再生可能エネルギー」についての授業を行った後、IOCAのスタッフのサポートにより「再生可能エネルギー」を題材に各自が1枚ずつアートを作成するコミュニケーションアートに取組みます。（詳細は別紙をご参照ください。）

また、ワークショップで作成したひとりひとりのアートは、1枚のポスターにデザインし、みんなで作る卒業制作として、同小学校とワークショップに参加する児童の皆さん全員にお配りする予定です。

コミュニケーションアートとは

自らの考えをアートで表現することで感性や創造性を育み、そして、互いのアートを鑑賞することで自由な発言や意見交換などのコミュニケーションを楽しんだり活発にしたりするための手法です。

都内小学校で実施した際のレポートから



ワークショップに取り組む子どもたち



作成したアートを並べてみんなで鑑賞

今回訪問する小学校は、「さまざまなエネルギー問題を理解し、それを主体的にとらえ、改善に向けて行動できる子」「地球にやさしいエネルギーに関心をもつ子」の育成を教育方針の1つとされています。

「再生可能エネルギー」を題材にしたワークショップを通じ、小学校で学んできた「エネルギー」についての意識をさらに強めていただければ幸いです。

ソニー損保では東日本大震災被災地域を応援したいと考え、日本赤十字社を通じた寄付や、環境保全活動の1つである「幼稚園にソーラー発電所を プログラム」(*3)による被災地域の幼稚園・保育園への太陽光発電設備の寄贈などを行っています(*4)。今回のワークショップも震災被災地を応援する取り組みの1つです。

< 本文の注記 >

- (*1) NPO 法人そらべあ基金は、ホッキョクグマの兄弟「そらべあ」をシンボルに、再生可能エネルギーの普及活動や、未来を担う子どもたちへの環境教育を行う NPO 法人です。 < ウェブサイト <http://www.solarbear.jp/> >
- (*2) NPO 法人インスティテュート・オブ・コミュニケーション・アートは、アートによる「学びの場」創出を目的とした NPO 法人です。個人の主体性・創造性を引出すコミュニケーションアートのワークショップ「EGAKU Workshop」を主に子どもを対象に実施しています。 < ウェブサイト <http://www.ioca.jp/> >
- (*3) 「幼稚園にソーラー発電所を プログラム」は、ソニー損保の「保険料は走る分だけ」の自動車保険における、ご契約者の走行距離を契約時に確認する仕組みを活用した寄付活動です。契約をご継続いただくときに、前年の実際に走った距離が予想年間走行距離を下回っていた場合、車の運転による CO2 排出量が予定より減って環境保全に貢献されたと考えられます。このご契約者の環境保全への貢献に呼応する形で、走らなかった距離の総合計 100km につき 1 円をソニー損保が「そらべあ基金」に寄付し、そらべあ基金を通じて全国の幼稚園・保育園に太陽光発電設備（そらべあ発電所）を設置するものです。
< 「幼稚園にソーラー発電所を プログラム」の詳細 <http://ecology.sonysonpo.co.jp/solarbear/> >
- (*4) 「幼稚園にソーラー発電所を プログラム」により、これまで計 5 園に太陽光発電設備を寄贈しています。また、2012 年 3 月末までに、計 3 基の太陽光発電設備を、それぞれ岩手県、宮城県、福島県の幼稚園・保育園に寄贈します。

【再生可能エネルギーを題材にしたコミュニケーションアートのワークショップ概要（予定）】

実施日時： 2012年2月22日（水）11時15分～15時
場 所： 福島県いわき市立久之浜第一小学校 教室（2部屋）
参加者： 同小学校6年生 全員（44名）

協賛：ソニー損害保険株式会社

主催：NPO 法人そらべあ基金

協力：NPO 法人インスティテュート・オブ・コミュニケーション・アート（IOCA）

【プログラム】

11：15 関係者の挨拶（約5分）

- そらべあ基金 代表理事 市瀬氏 あいさつ、プログラム趣旨の説明
- ソニー損保 広報・CSR部長 渡辺 あいさつ
- IOCA 理事長 谷澤氏 あいさつ

11：20 再生可能エネルギーに関する授業（約30分）

12：00 コミュニケーションアート「EGAKU Workshop」（約10分）

- 全体ガイダンス

----- お昼休憩（60分） -----

13：00 コミュニケーションアート「EGAKU Workshop」～「再生可能エネルギー」を題材に、以下ワークに取り組みます。～

- 鑑賞ワーク1 鑑賞とは何か？のデモンストレーション
- 描くワーク 自己との対話内容・考えをパステルアートで表現
- 鑑賞ワーク2 児童同士での作品鑑賞

14：50 終了

- 久之浜第一小学校 校長 松本様 ごあいさつ
- 記念撮影

15：00 終了